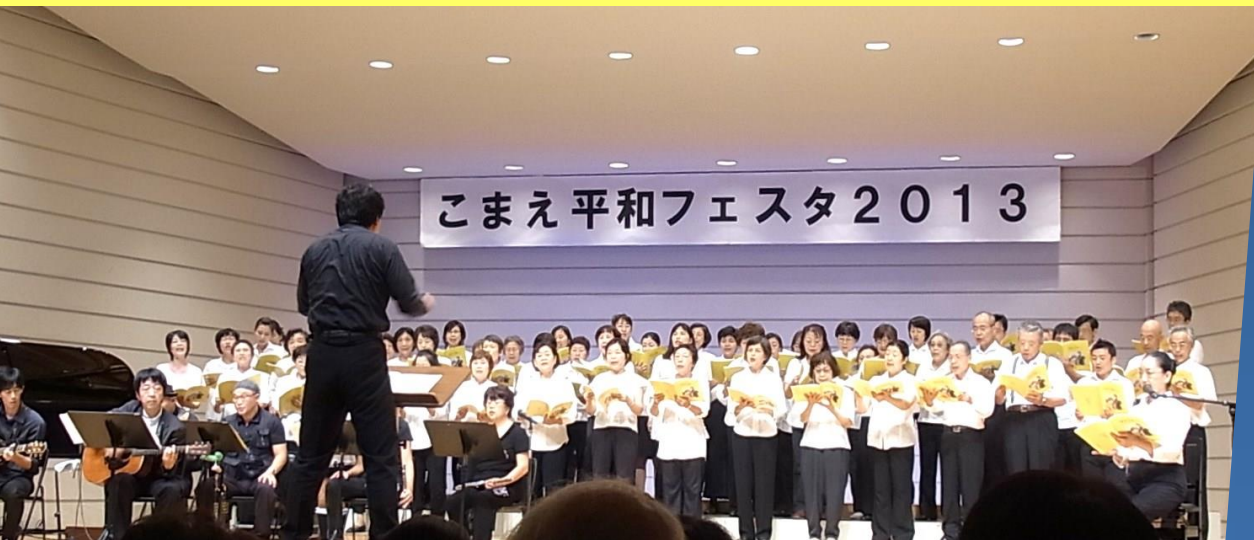


こまえ平和フェスタ 2017

7月30日(日)狛江エコルマホールにて

合唱と語りによる構成「平和の旅へ」を歌う

平和フェスタ合唱団員募集!



▲2013年に演奏され、「感動」「圧巻」「ぜひ再演を」の声が多く寄せられた。

練習日程・会場一覧 時間は全て 10:00~12:00

6月17日(土)	中央公民館視聴覚室
6月25日(日)	中央公民館ホール
7月 1日(土)	中央公民館視聴覚室
7月 9日(日)	西河原公民館視聴覚室
7月15日(土)	中央公民館視聴覚室
7月16日(日)	中央公民館ホール
7月23日(日)	中央公民館視聴覚室



【参加資格】 なし。

ピアノ・ヴァイオリン・フルート・ギター、多彩な伴奏陣！
プロの音楽家、役者のみなさんとともに舞台に立ちませんか？
平和についての勉強もできます。中高生の参加も大歓迎！
子どもからお年寄りまで、参加の年齢制限はありません。

「音楽経験なし」「楽譜が読めない」そんな方でも大丈夫です！

【入団費】 無料。楽譜(800円)をご購入ください。

問い合わせ先 ■090-8450-5362 日向(ひなた)

こまえ平和フェスタ



HP・Facebook もあります。

あなたは、
渡辺千恵子さんを知っていますか？
あの日の長崎を、知っていますか？

被爆者・渡辺千恵子さんと「平和の旅へ」



母親に抱きかかえられながら核廃絶を訴える千恵子さん

1945年8月9日長崎。当時16歳だった渡辺千恵子さんは、爆心地2.5km地点で被爆、鉄骨で腰を砕かれる重傷を負いました。

戦争と原爆で青春時代も、身体の内も、健康な生活も奪われた千恵子さんは戦後、原爆症に苦しみながらも、車椅子に乗るための手術やりハビリに耐え、被爆体験の語り部として、核兵器の廃絶を訴える「平和の旅」に、その人生を捧げました。

合唱と語りによる構成「平和の旅へ」は、戦後・被爆40年の1985年に作られ、長崎を中心に、中学・高校、また修学旅行での平和学習などの場で、200回近く歌われてきました。

1993年、千恵子さんは亡くなりましたが、この歌とともに、「平和の旅」は今も続いています。

主な演者紹介(6月3日現在)



渡辺千恵子の朗読

枝森 祥子(えもり さちこ)

熊本県熊本市出身、狛江市在住。

劇団新人会・劇団朋友を経て現在フリーで活動。

朗読グループ「袖々」「紬の会」に在籍。

樋口一葉記念会主催の朗読会「十三夜」などで朗読家として活動

被爆者の訴え、独唱

金光 和恵(こんこう かずえ)

メゾ・ソプラノ。武蔵野音楽大学卒業。第五回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。

落語家の司会による「洋楽寄席」にてレギュラーを務める他、様々な演奏会に出演。

また、「山のふもとの鬼の話(全八話)」(中村榮作詞/金光威和雄作曲)の再演を続け、独自の語り歌の世界を創り上げている。猪方在住。



ヴァイオリン

瀬堀 玲実(せぼり れみ)

狛江市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科修了。

小澤征爾率いるサイトウキネンの室内楽勉強会に参加し、小澤征爾の指導を受ける。

せたがやシンフォニエッタメンバー。現在はソロ、室内楽、オーケストラで活躍する一方、東京工業大学オーケストラの指導にあたる。

合唱指導・指揮

大熊 啓(おおくま あきら)

第1回こまえ平和フェスタの市民公募による「平和フェスタ合唱団」で指揮・指導を務め、以来実行委員としてもこまえ平和フェスタに関わり続けている。

現在、狛江市内や、多摩市・墨田区などで複数の合唱団を指導する他、歌声喫茶、歌声酒場でギター伴奏や司会としても活動。岩戸南在住。



第13回こまえ平和フェスタ 2017 子どもたちの未来のために

～ヒロシマ・ナガサキを忘れない～

7月30日(日)エコルマホールにて 13時開演

被爆者・木村徳子さんと、高校生平和大使を務めた布川仁美さんによるお話、

かたりべ・俳優の松尾敦子さんによる語り、若者たちによる狛江市平和都市宣言の朗読劇、

狛江市内で活動する「ミュージカル CoCo～」、「コカリナサークルこまえ」など多数出演！

平和の展示コーナーもあります。

【主催】こまえ平和フェスタ実行委員会 【後援】狛江市・狛江市教育委員会・狛江市社会福祉協議会・狛江市音楽連盟